

自衛隊のラグビーを強くする会

会員各位 殿

同封書類

会費振込用紙

返信用葉書

会員通信欄

現役自衛隊レフリーに対する助成について

理事長 赤瀬 公

会報（27年度第1号）

1 はじめに

初夏の候、皆様ご清栄のことと存じます。

防衛省自衛隊の各チームは春からチーム強化のため、各種行事がある中、チームの特性や地域の特性に応じてそれぞれ強化を図っていることと思います。

今年の9月18日 - 10月31日の間にイングランドにおいて、2015年ラグビーワールドカップが開催されます。参加国は20ヶ国（予選出場102ヶ国）全48試合が行われます。

自衛隊から選出されたメンバーはいませんが、今年こそは予選を突破して、2019年ラグビーワールドカップ日本開催の弾みをつけてほしいと思います。

また、ジャパンラグビートップイーストリーグ ディビジョン2の船岡チームと今季から参加する習志野チームが切磋琢磨し、上位進出を図り、ディビジョン1、トップリーグ昇格を期待したいです。

「自衛隊のラグビーを強くする会」も防衛大臣である中谷会長を中心に ONE-FOR-ALL ALL-FOR-ONE のラグビー精神を思い起し、会員一人ひとりの力で、皆の力で現役のラグーマンを支援し、“自衛隊のラグビーを強くする会”を盛り上げましょう。

全国各地において、ラグビーだけでなく地域活動に参加されている会員皆様には、自衛隊のラグビーが更に強く、活発になるよう各駐屯地、基地等のラグビー部への継続支援をお願いします。また、今年度の全自衛隊ラグビー大会に参加チームが増えるよう、激励のほど重ねてお願い申し上げます。

2 自衛隊のラグビーを強くする会 総会・懇親会

3月18日(水)に防衛省内で平成26年度総会及び懇親会を実施しました。

参加者は森名誉会長、中谷会長、西防衛事務次官、日本ラグビー協会、関東ラグビー協会関係者を始め130名以上の参加で盛大に行われました。

中谷会長と一部の会員は総会及び懇親会を実施する前に、SEALSの選手と市ヶ谷防衛省のグラウンドでタッチラグビーをして汗をかき、おいしいお酒を飲み楽しい時間を過ごしました。



森名誉会長



中谷会長

平成26年度総会（市ヶ谷STAにて）



SEALS の選手との試合後集合写真
(中谷会長を囲んで) 市ヶ谷グラウンドにて



盛岡から参加された玉澤（元防衛庁長官）会員の音頭で乾杯！ 総会・懇親会



これが募金だ！
SEALS 選手のサプリメントが不足していることを聞き小田副会長が率先して募金。その後、賛同した会員も続々と募金した。

SEALS 支援募金の仲間たち
総会・懇親会

3 国際防衛ラグビー選手権について

国際防衛ラグビー選手権（International defence Rugby Competition）は、ニュージーランドで行われた第7回ラグビーワールドカップ2011にあわせて第1回大会をオーストラリアが開催し、9カ国12チームが参加した。ラグビー発祥の地英国からは、陸軍、海軍、空軍の3チームが参加した。

英国で行われる第8回ラグビーワールドカップ2015（9月18日～10月31日）にあわせて、第2回国際防衛ラグビー選手権2015を英国が開催する。

防衛省・自衛隊からも国際防衛ラグビー選手権への参加が検討されている。



国際防衛ラグビー選手権 2011 オーストラリア大会 英国チーム

4 各チームの活動状況

○船岡駐屯地ラグビー部 (船岡自衛隊 HP から) http://www.geocities.jp/funaoka_kuri/team.html

創部は1969(s44年)に遡ります。4月1日、陸上自衛隊船屯地に於いてチームが結成されました。永年、東北社会人リーグでプレーして参りましたが2006年に関東社会人1部リーグに参戦し、現在に至っております。現在は突出した選手もいなくチーム全体の体格もけっしていいものではありませんが、みんなで力をあわせ目標に向かう雑草軍団です。雑草のごとく、強く、たくましいチームを目標に日々努力しております。またこの地で活動できることに感謝し、地域に密着したラグビー部を目指し精進して参ります。

2012年度よりチームロゴマーク、サブチームネーム。Wild Bores (ワイルドボアズ) 意味は野生の猪です。私どもの駐屯地には子連れ野生の猪が出没します。

船岡自衛隊ラグビー場にも餌を求め、草の根を食べに来るためグラウンドが何度も荒らされ、何度も追い払ってもまた来ます。このしつこさ、食欲さを私どもも見習いしつこいディフェンス、トライを狙う食欲さをあいつらから見習い Wild Bores (ワイルドボアズ) としました。皆様の温かいご声援よろしくお願ひします。

(編集者追記)

ラグビーマガジン2015年7月号の“クラブチーム情報” p94~p95に船岡ラグビー部の活躍(東北・北海道7人制大会優勝(Aチーム)、コンソレーション1位(Bチーム))が掲載されました。ラグビーマガジンの発行者“ベースボールマガジン社様”のご厚意により、記事のコピーを掲載しました。

「最古」をつないで第65回
●第65回東北・北海道7人制大会

北の地に、長い伝統を持つ大会があることを存知だろうか。昭和初期の日本ラグビー界は、まだあまり発展していなかった。そのため、15人を集めるのがなかなか難しかった。そこでラグビーの普及を目的に、当時の国内各帝国大学に大会主催をお願いしたのが日本に7人制ラグビー競技が広がるきっかけになった。当時は高体連などなく、大学が(旧制) 高等学校や専門学校、旧制 中学校の大会を主催していた。初期の頃、この東北・北海道7人制大会には(旧制) 仙台二高と東北学院専門学校が各々A、Bチームを編成して参加。計4チームだけだったが、そこでラグビーをもっと普及し、



優勝 東北自衛隊船岡Aチーム



コンソレーション1位 東北自衛隊船岡B



準優勝 仙台大学

▶第65回 東北・北海道7人制ラグビー大会

船岡自衛隊A	28	55	27
B R C	0	7	
南関(ナメイ)	17	7	
いなほブルズ	0	7	
石巻松島A	26	7	
J月東日本	10	7	
北	14	7	
船岡自衛隊B	34	5	
石巻松島B	0	24	
仙台大学	31		
【コンソレーション(地区戦)】			
南関(ナメイ)	22		
ブルズ	0	14	
B R C	0	7	
石巻松島	0	7	
北	38		
船岡自衛隊B	34		

この大会を盛大にしようと動いた人間がいた。昭和7(1932)年秋、東北大学マネージャーの上田昌二氏(河北新報社社長)が河北新報社社長の一力氏にサポートを依頼した。その後、社長のポケットマネーによりボールを買って持ち参り、市内中学校の体育の先生方にラグビーの普及をお願いした。それが仙台の中学校(須賀高校)ラグビー競技部生へのルーツである。そしてついに昭和25(1950)年、第1回東北・北海道7人制大会が開催された。年を追うごとに徐々に認知度が向上し、参加チームも増えた。高校を含めて40数チームが参加したこともあった。

一方で、全国の他の旧帝国大学は、次々に主催をやめていった。そんな中で、唯一、東北大学だけが現在も主催となつてこの大会を継続している。今年、第65回、日本で一番歴史のある7人制の大会となっている。今年も東北近県と北海道、関東協会傘下のチームにも呼びかけをおこなったものの、今大会(4月29日/石巻総合運動公園・フットボール場)には、県内のクラブ・社会人/大学の部に全10チームがエントリーして開催された。近年は参加チームが減少傾向にあ

る中、多くの部員を抱えている東北自衛隊船岡と石巻体協ライノス+松島基地の合同チームがA、Bチームを編成。また大学からは、仙台大が昨年引き続き参戦した。大会当日は晴天にも恵まれ、新緑の素晴らしいグラウンドコンディションの中で白熱したゲームが展開された。決勝戦は東北自衛隊船岡A×仙台大と、昨年と同じカードに。激戦の末、優勝は東北自衛隊船岡A。なんと9連覇を達成した(高校生の部は、昨年度より全国高校7人制大会・宮城県予選に移管された)。

来年、第66回大会は2016年4月29日に開催予定となっている(大会要項は来年2月末頃発表予定)。

○習志野駐屯地ラグビー部

習志野ラグビー部監督 西村竜治

現在、習志野ラグビー部は、トップリーグイースト Div2 の強豪と対等にわたり合うため、個々の身体作りに専念すると共に個人技及びユニットの強化に励んでいます。

目標は上位進出です。Div2 のどのチームも強いですが、「チーム一丸」となって、習志野らしい泥臭いラグビーで、一つでも勝利し、同じリーグで頑張っている船岡ラグビー部と共に自衛隊ラグビーの存在感をアピールしていきたいと思います。あわせて、今年 12 月に実施される全自衛隊大会において、船岡ラグビー部を撃破することを最大の目標としてしっかり準備していきます。

今年 4 月から前キャプテン HO 生田豊（いくたゆたか）3 陸曹に替わり新キャプテン No.8 對馬瑛教（つしまあきのり）2 陸曹が上番しました。運動量と体をはったプレーでチームを引っ張って行くことを期待しています。



平成 27 年 5 月 2 日 3 日 IBM との合同練習

重量傘の必要な相手 FW を空挺のスマートな軽量 FW が低い姿勢でスクラムを圧倒？



赤ジャージ：習志野
青ジャージ：IBM

平成 27 年 5 月 2 日 3 日 IBM とのミニマッチ



平成 27 年 4 月 25 日 落下傘クラブとの定期戦
往年の猛者ラグーマンと新人とのガチンコ対決前
の和やかな集合写真
ノーサイドも同じく和やかでした。
試合中は？・・・



平成 27 年 4 月 29 日 みずほ銀行とのオープン戦
前半 A チームが同点で健闘するも、後半 B チームが
零封で惜敗

○防衛大学校ラグビー部 4 学年 澁谷 大輝 <http://www.nda.ac.jp/ed/rugby/>

自衛隊ラグビーを強くする会の皆様におかれましては、ますますご活躍のことと拝察申し上げます。このたびは、防衛大学校ラグビー部活動状況についてご紹介させていただきます。

初代防衛大学校長榎智雄先生は、その著書「防衛の務め」においてラグビーを「自衛官養成に適したスポーツ」と記しています。

ラグビーのコアバリューである「品位」、「情熱」、「結束」、「規律」、「尊重」と防衛大学校学生綱領である「廉恥」、「真勇」、「礼節」と重ね合わせ、これらを意識しラグビーに取り組むことで人間性の修養もできると考えております。すなわち、将来ナショナルリーダーになるために必要な資質が、ラグビーというスポーツを通じて得られると確信しています。

今年度は、防衛大学校でラグビーをする意義を「ナショナルリーダーの育成」とし、「シニア、ジュニア共に2部リーグ昇格」を目標と掲げております。

現在、1 学年から 4 学年、合計 140 人の部員を

- ・関東大学リーグ 3 部に所属するシニアチーム
- ・関東クラブ選手権 3 部リーグに所属するジュニアチーム
- ・1 学年を中心とした 1 年チームという 3 チームに編成し活動しております。

日々の練習は、大変限られた時間ではありますが、力強いスクラムと鋭いタックルを強みにすべく取り組んでおります。

毎年春シーズンは、東京大学、京都大学、筑波大学と定期戦を行っております。今年度については 5 月に筑波大学、東京大学と定期戦を実施いたしました。結果は、敗北を喫してしまいましたが、ノーサイドの笛の後には一人のラグーマンとして相手を尊重するというラグビーの素晴らしい文化を肌で感じる事ができました。また、アフターマッチファンクションでは、普段の生活ではなかなか接点のない他大学生との交流を通して、たくさんの刺激をもらいました。

残る京都大学定期戦、秋のリーグ戦に向けてセットプレーやバックスのディフェンスに向上の余地があると捉え、現在修正を加えております。

今後も休日を返上し、決して楽とは言えない練習を続けていく所存です。共に戦い勝利する喜びを知っている 140 人の仲間・部員と、心身ともに我々を成長させてくれるラグビーに出会えたことに感謝しつつ、目標達成に向け邁進してゆきます。

最後になりましたが、自衛隊ラグビーの活性化に少しでも寄与できるように努力してまいりますので応援の程よろしくお願い申し上げます。



平成 20 年 6 月 17 日 英国エディンバラ大学
日本遠征試合
両チームのメンバー（保土ヶ谷グラウンド）



平成 27 年 5 月 24 日 東京大学との定期戦
試合前の防大Aチーム(防衛大学校グラウンド)



平成 27 年 5 月 24 日
 東京大学 A チームとの試合
 防大紺色ジャージ



平成 27 年 5 月 24 日
 東京大学 B チームとの試合
 防大赤色ジャージ

○防衛医科大学校ラグビー部 <http://ndmcrfc.d2.r-cms.jp/>

1 はじめに

はじめまして、防衛医科大学校学生部で訓練助教として勤務している久米村 1 空曹です。防衛医科大学校では学生生活に密着した学生指導及び訓練支援を業務としております。この度は、本誌に寄稿の機会を得ましたので、防衛医科大学校ラグビー部（以下、防医大ラグビー部）についてペンを取りたいと思います。

防医大ラグビー部は、医学科学生（1～6 年生）25 名、看護学科学生（1～2 年生）2 名、マネージャ 13 名、妻鳥部長以下スタッフ 7 名、総員 47 名で活動をしています。ノブレス・オブリージュの精神の下、益子 GM の教義「嘘をつくな、物を取るな、言い訳をするな、潔くあれ」を合い言葉に、学業の合間に激しくかつ興奮するラグビーに励んでいます。お近くにお越しのときは、是非グラウンドにお越しいただき激励のお言葉をいただければ幸いです。

（平日 20 時 30 分まで、金のみ 21 時 30 分まで、休日は試合。詳しくは防衛医大ラグビー部のホームページをご覧ください。）



平成 26 年 メディカルセブンズ
 現役・OB の防医大ラグビーファミリー



平成 26 年度 第 62 回関東医歯薬大学ラグビーリーグ 1 部（初）優勝決定直後の歓喜溢れる 1 枚

2 第 62 回関東医歯薬大学ラグビーリーグ初優勝

防医大ラグビー部は、永らく関東医歯薬大学ラグビーリーグの 4 部にて奮闘していました。私がコーチを拝命した 2008 年シーズンは、15 名のメンバーを揃えるのがやっとの状態でした。転機は 2009 年（キャプテン長野寿人）の新入部員大量獲得でした。同年に防医大ラグビー戦術「これで勝つ」を作成しチームは大きく舵を切ります。「これで勝つ」が功を奏し、防衛医大ラグビー部は常勝軍団へ成長していきます。2010 年 4 部優勝 3 部昇格（キャプテン塚本旬）、

2012年3部優勝2部昇格（キャプテン廣瀬裕一）、2013年2部優勝1部昇格（キャプテン佐々木大雄）、2014年創部38年目にして悲願の初優勝（キャプテン安武新悟）を飾りました。そして2015年シーズン（キャプテン武川和樹）の目標は、5月に行われるメディカルセブンズ優勝と9月から始まる関東医歯薬大学ラグビーリーグ1部の連覇です。春合宿はけが人も多く不安でしたが、今年は7名の新人部員を迎えチームは勢いづいています。

3 ぎりぎりまでラグビー

防衛医科大学校のクラブ活動は学友会と呼ばれ、ほとんどのクラブは4年生で引退します。そんな中、ラグビー部は6年生の12月、つまり医師国家試験ぎりぎりまで楯円の球を追い続けます。国家試験の前日に、「心が落ち着く」と練習する学生もいるくらいです。彼ら（彼女たち）にとってラグビーは、睡眠や食事をすると同様、生活の一部となっているのだと思います。ラグビー精神が染みついたラグビードクターやラグビーナースは医療の現場でも体を張って活躍し、信頼できる人間です。そんな彼らは防衛省の宝であり、BOBラグビーファミリーの誇りです。

4 最後に

防衛医大ラグビーには書面化されていない戦術、いわゆる躰（別冊これで勝つ）が存在します。その中に「トライをとってもガッツポーズをしない」というのがあります。私はこれが一番大切だと信じています。他のスポーツにおいて選手やベンチが喜びを爆発させてガッツポーズすることは全く問題ありません。しかし、ラグビーにガッツポーズやヒーローは必要ないと思います。私も防衛医大ラグビーと一緒に、ガッツポーズすることなく、日々精進、淡々と事に臨んでいきたいと思っています。BOB会員の皆様方におかれましては、防衛医大ラグビー部への変わらぬご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



平成27年3月 卒業式・宣誓任命式直後
防医大ラグビー部卒業生（新OB）
と益子監督、コーチ陣



平成27年3月 関東医歯薬大学ラグビーリーグ1
部連覇を祈念する防医大ラグビー部ファミリー

5 BOBの活動 <http://sports.geocities.jp/ndarfcob/900bob/bobkaiho.html>

○対迷惑倶楽部 定期戦（芦屋）

27年5月10日（日）、昨年までのシロツメクサ（別名:クローバー）のグラウンドが一転、ふさふさの芝生に生まれ変わった芦屋基地グラウンドで迷惑倶楽部との定期戦を楽しみました。

試合は、BOBに迷惑倶楽部で活動している会員もおり、当初は、少々遠慮がちのあたりでしたが、中盤からは冷静な中にも？ガチンコの勝負となっていました。遠来の和田先輩が強く当たられ負傷されたのですが、最後までランカーを努められました。

当たられた際、逆にハイタックルのペナルティを取られてしまいました。一言のクレームを付けることなくBOB参加長老の範を示して頂きました。

試合の結果は、赤パンツ以上勝ち、紺白パンツ負けの一勝一敗でした。

試合に先立ち、昨年逝去されました元迷惑倶楽部副会長 石橋文夫氏に対して原田大助氏の統制の下、黙とうを参加者全員で行ないました。故石橋氏の本定期戦立ち上げに尽力されたことが紹介され、黙とう後、ご長男の感謝（ご芳志も頂戴しました。）の言葉がありました。

当日は、「母の日」ということから家庭サービスに努めた会員が多かったのか、参加者の出足はあまり良くなく、地元の玄海オールドパイレーツクラブから2名の助太刀を頂きました。リザーブが少ない分、しっかり試合が出来ました。

試合後は、恒例のバーベキュー及びおじさん達待望の基地カレーライスを頼張り、ビール片手に参加者と旧交を温めることが出来ました。

グラウンドを整備して頂きました関係者の皆さん、そして、芦屋基地ラグビー部隊員の皆さんご支援有難うございました。また、来年もよろしくお祈りします。



平成 27 年 5 月 10 日 迷惑倶楽部の皆さんと試合前集合写真（芦屋基地グラウンドにて）

○対不惑倶楽部 定期戦（下総）

BOB 単独のチーム編成ができず、房惑クラブ（千葉）の支援を受けて不惑クラブ（東京）との定期戦ができました。日頃チーム練習・試合で継続的に練習をしている不惑クラブに対して、BOB は広域分散し、個人での練習に頼っているため、中々チームプレーがかみ合いませんでした。

結果は、黄赤パン連合の試合で トライ数 8vs2 で大敗でした。

“昔取った杵柄”で毛ガもなく（・・・怪我もなく）試合後の懇親会は楽しく過ごしました。

ノーサイドの精神は皆さんが堅持しており、BOB&房惑クラブと不惑クラブの懇親会は 六実駅近くの“鳥孝”大広間座敷で開かれました。

さすがに往年のラグーマン、刺身、焼き鳥、揚げ物と高カロリーの美味しい肴とビール、焼酎、日本酒がアツと言う間に？ 鳥孝の親爺もビックリだったとか。

試合に出なくともノーサイドの精神はアフターファンクションで発揮できます。旧交を温めることも楽しいものです。次回は、飲酒運転にならないため、健康的に電車乗り継ぎ徒歩での積極的参加をお願いします。

6 会員の募集

本会は、自衛隊ラグビーの強化のための物心両面に亘る現役支援を第一義としており、会員の親睦の試合（シニアプレー）は第二義であることをご理解のうえ、会員の募集にご協力ください。

しかしながら、「自衛隊のラグビーを強くする会」のラグビー実行部隊の BOB の試合は、白パン、紺パンの参加者が少なくなってきた厳しい現状です。

特に、地方で行う定期戦の参加者が少ない状況です。会員皆様の積極的な参加をお願いします。

現在の日本の人口構成と同様に若手会員が少子化現象となっています。特に、現役世代に近い会員の募集に力をいれます。

現役の試合に参加するのは無理でも、ラグビーはやってみたいと思われる方は、是非 BOB の試合に参加して、若手現役プレイヤーに「いぶし銀」の体力・技術・気力を見せてください。

また、試合に参加しないから、試合参加の「返信葉書」は不要という方も居られますが、その方のみ葉書を省くという作業は郵送作業時の手間がかかりますのでご容赦下さい。通信欄に近況やラグビーに対する思いを述べていただ

き、会報にて会員にお知らせいたします。

ラグビーの試合参加の有無だけでなく、「旧交を温めなおす」キッカケにしてください。

健康上の理由で試合に参加できないので、脱会したい旨を述べられる会員も居られますが、あくまでも、自衛隊のラグビーを強くするための会であり、現役を支えていくという大切な使命があります。

現役の後輩が、トップリーグやオリンピックで活躍する姿を夢見て経年変化で傷んだ身体をごまかしながら自衛隊のラグビーを強くするために支えていきましょう。

平成 27 年度も、引き続き本会の設立主旨に沿った自衛隊ラグビーの強化のための支援活動及び BOB の充実発展に努めてまいります。会員各位のご協力、ご支援をお願い致します。

7 投稿依頼

会員皆様方の所属する又は所属していた駐屯地、基地等のラグビー部の活動状況を投稿下さい。

会報に記載し会員皆様にお知らせしたいと思います。

8 その他

(1)現役支援

自衛隊ラグビーの強化のための現役支援活動として、全自衛隊ラグビー大会の支援及び BOB 定期戦に対するご協力をいただいた駐屯地、基地のラグビー部に御礼を含め支援を継続します。

(2)女子7人制ラグビー（セブンズ）支援

2016年夏季オリンピック・リオデジャネイロ大会において、女子7人制ラグビーの正式採用が決定しています。日本ラグビー協会の要請もあり、自衛隊からオリンピック代表選手を輩出すべく、各駐屯地、基地の選手の強化にご支援ご協力を引き続きお願いします。

(3)全自衛隊ラグビー大会のレフリーとして大会の運営に多大なる支援をしていただいている現役自衛官のレフリーに対するご支援をよろしくお願いします。

9 今後の試合予定

(1)対ゆうわく戦 ゆうわく（仙台） 7月26日(日) 船岡駐屯地
赤・黄パン 1230～ 紺パン 1320～ 白パン 1410～
懇親会 試合終了後に有り。

(前日の土曜日は船岡駐屯地の行事がある。夜は花火大会があります。)

(2)対不惑戦 不惑（東京） 9月6日（日） 松戸駐屯地
白パン 1300～ 紺パン 1350～ 赤・黄パン 1440～
懇親会 1600～

入門証をお持ちでない方の入門は1250までをお願いします。

(3)対迷惑戦 迷惑（大阪） 11月又は12月 大阪地区（調整中）

(4)対神惑戦又は不惑 11月29日(日)か12月6日（日） 松戸駐屯地

全自衛隊ラグビー大会が未定のため確定できません。

(5)全自衛隊ラグビー大会 日程は未定（8月末に決定予定）

記

1 27年度会費について・・・(注) 郵便振込用紙在中

会員の皆様には、会費の納入をお願いしております。会費は、メール等利用による事務経費の節減努力により、従前の送料込み 2,000 円を維持することとさせて頂いております。つきましては、年度会費として、送料込み 2,000 円（手数料本会負担）を速やかに下記口座にお振込頂けますよう、お願いいたします。

今年度は、別紙「現役自衛隊レフリーに対する助成」として 1 口 500 円からお願いしています。

詳細は別紙をご覧ください、趣旨に賛同いただき 1 口以上（上限はありません）のご支援をお願いします。

既に、平成 27 年度の会費を納入された会員の方の振込は手数料を除き全額を「現役自衛官レフリーに対する支援」といたします。

会費未納の方の振込は、手数料込 2,000 円を会費とし、残金を「現役自衛官レフリーに対する支援」といたします。

振込要領が複雑となったことをお詫びいたします。

- 郵便振込口座番号：00160 - 2 - 74136
- 口座名称：自衛隊のラグビーを強くする会

連絡先： 理事総括 宇山 佳男

電話 080-2234-3471

090-5204-6897

メール y.uvama.un@azbil.com
uyang009rug@ac.cyberhome.ne.jp

編集後記

自衛隊のラグビーを強くする会、BOBの発展を祈念して、関係ラグビー部の関係者に声をかけたところ、沢山のラグビー部の監督さんから、写真を添えて投稿いただきました。

それぞれのラグビー部が活躍していることがわかる内容でした。

特に、一部優勝の防衛医科大学校ラグビー部、昇格した習志野ラグビー部の意気込みを強く感じました、

今後も、各地のラグビー部の活動状況や、現役自衛官レフリーの活動を会員の皆様に理解いただき、ご支援を頂けるような方策を検討していく所存です。

忌憚の無い意見を頂き反映させていただきます。

ご協力お願いします。

編集に当たり、簡単な感想を記しました。

編集理事 森 茂樹